



intelligear mini

RAID 0、1、3、10、5、LARGE、CLONEを搭載する
RAIDストレージシステム



特徴

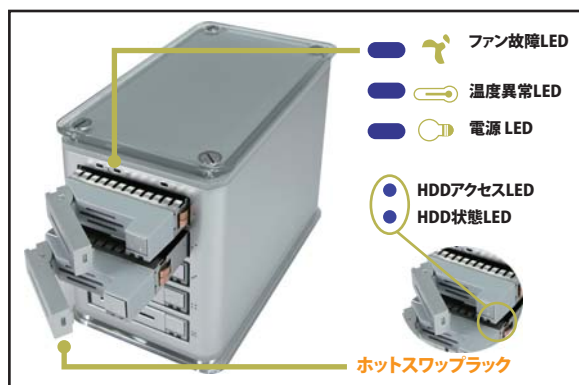
intelligear miniは市販の2.5インチSATA HDDを最大で5台搭載可能な5ベイRAIDストレージシステムで、汎用性の高いeSATAやFireWire 800/USB2.0コンボ及び最新の高速インターフェイスであるUSB3.0を装備する事ができます。更に本製品にはSmartRAIDマネージャーと呼ばれる管理ソフトを付属し、RAIDモードの設定及びシステムの管理などを簡単に行う事が可能です。ハードウェアRAIDを搭載し、パフォーマンス重視のRAID0、データの安全性に優れたRAID1、RAID0とRAID1の長所を併せ持つRAID10、RAID0にパリティと呼ばれる誤り訂正符号が追加されたRAID5及びRAID3、利便性の高い大容量重視のLARGE、最大で5台のHDDに同様の内容を書き込むCLONEを設定可能です。

■美しい透明感と堅牢性に優れたデザイン

intelligear miniは本体上部と底面に透明感を再現した美しいクリスタル加工を採用し、コンパクトで高級感溢れるデザインはMacPro等にマッチします。筐体に高い放熱と剛性を併せ持つアルミニウムを使用しているため、システム及び内部に搭載されたドライブを高レベルで保護する事が可能です。更にリムーバブルトレイ方式により快適なストレージ環境を実現します。

■リムーバブルトレイ方式を採用・ホットプラグ対応

intelligear miniはドライブ交換が必要な場合にとっても便利なリムーバブルトレイ方式を採用し、ドライブの着脱を簡単に行う事が可能です。更にドライブを確実に固定するロックシステムによりドライブの誤った取り外しを防ぐ事が可能です。更にホットプラグに対応し、パソコンの電源を入れたまま、本製品に搭載をしたHDDを交換、取り外す事が可能です。



■コストパフォーマンスに優れた拡張性

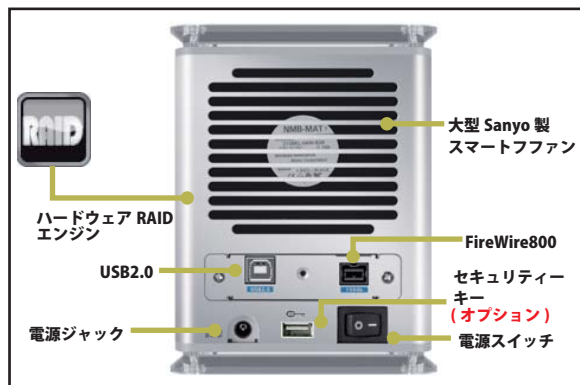
intelligear miniは搭載されたインターフェイスパネルを簡単に取り替え可能。他のインターフェイスをご利用頂く場合は、別売りのインターフェイスボードのみをご購入頂くだけで使用することが可能。現状は交換用のインターフェイスボードがeSATA、USB3.0、FireWire+USB2.0の3種類あります。

■大型Sanyo製冷却ファンを搭載

intelligearはHDDの熱を効率よく排気するため、品質に定評のあるSanyo製80mm大型冷却ファンを搭載し、更に電源部は外部ACアダプタとなりますので、内部に熱が籠りにくく、静穏性と排熱を両立してシステムを安定動作する事が可能です。

■設定・管理に便利なSmartRAIDマネージャー

intelligearはWindows/Macに対応したハードディスク管理・RAID設定ユーティリティを標準で付属し、RAIDの設定、及び警告方法等システムの管理、状態の確認等を簡単に行う事が可能です。



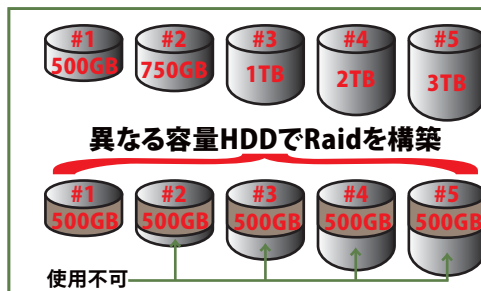
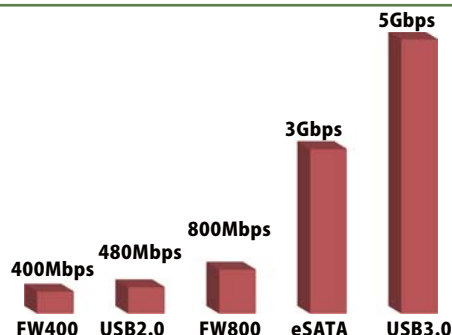
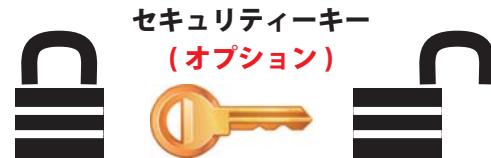
■設複数のRAIDグループを運用可能

intelligearは製品1台の中に複数のRAIDグループを作成し、運用する事が可能です。例として本製品にHDDを5台搭載した場合、2台のHDDを使用してRAID1ボリュームを作成、残り3台のHDDでRAID5ボリュームを作成するという使用方法も可能。ご利用になられる状況に合わせてRAIDモードを使い分けることができます。



■オプションのセキュリティーキー

intelligearはオプションのセキュリティーキーを使用することにより、更に暗号化をされたRAIDボリュームを作成する事が可能です。セキュリティーキーにより高レベルで暗号化をされたRAIDボリュームは、セキュリティーキーが無ければ一切アクセスをする事は出来ません。機密データの保護を実現します。



※搭載するHDDの注意事項

RAIDを構築する際はパフォーマンスを最大限に引き出すためにも同じ仕様のHDDを搭載する事を強くお勧め致します。異なる容量のHDDが混在した状態でRAIDを構築する場合、容量が最も小さいHDDが総容量の基準となります。



美しさと堅牢性に優れたデザイン

intelligear miniは本体に高級感溢れるアルミニウム素材を採用し、洗練された滑らかなデザインはMac Proにもマッチします。

TimeMachine機能と組み合わせが可能

intelligear miniはFireWire800又はUSB3.0/2.0でMacと接続時、MacOS Leopardに標準搭載をされているTimeMachine機能の保存先に指定する事が可能です。

intelligear miniに搭載されているRAID機能と組み合わせる事により、更にレベルの高いデータ保護が可能となります。



便利なSmartRAIDマネージャー

intelligear miniはRAID Managerユーティリティを標準で付属し、本製品のシステム管理やRAIDボリュームの作成等を行う事が可能です。RAIDManagerはBasicモードとAdvanceモードに別れ、Advanceモードではより詳細な設定を行う事ができます。

Basicモード：

簡単操作でRAIDボリュームを作成可能で、搭載したハードディスクの詳細、システムの温度、冷却ファンの回転数等のRAIDシステムの状況を表示する事ができます。更にシステムからのログ情報を確認する事により、警告動作状況などシステムの状況を管理できます。

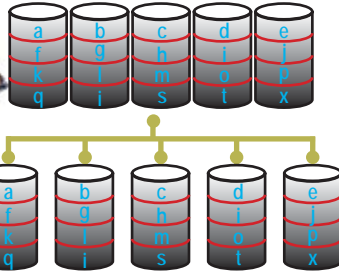
Advanceモード：

2グループのRAIDボリュームを作成したり、指定したサイズのRAIDボリュームを作成する等、より詳細なRAIDシステムの作成が可能。更にRAIDシステムに異常が発生した際にEメールにてお知らせする機能を設定する事ができます、外出先からでもシス

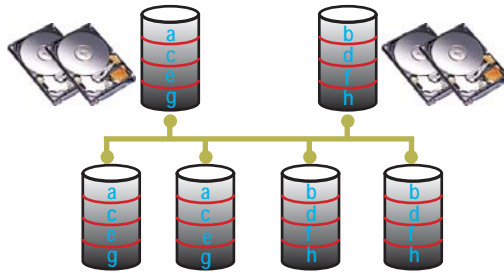


RAIDモード

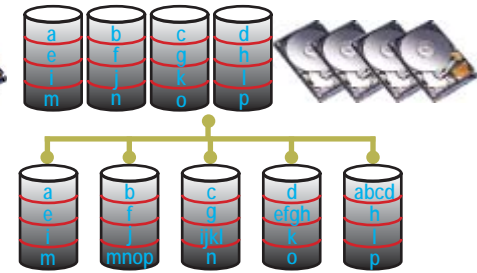
RAID0：大容量・高速



RAID10：高信頼性



RAID5：高信頼性・大容量・高速



対応RAIDモード	速度	容量	構成ハードディスク台数					合計容量
			1台	2台	3台	4台	5台	
LARGE(ラージ)	▽	◎	○	○	○	○	○	HDD合計
CLONE(クローン)	▽	▽	×	○	○	○	○	1台
RAID 0(ストライピング)	◎	◎	×	○	○	○	○	2~5台
RAID 1(ミラーリング)	○	▽	×	○	×	×	×	1台
RAID 10(ミラーリング+ストライピング)	○	○	×	×	×	○	×	2台
RAID 3(ストライピング+パリティ)	○	◎	×	×	○	○	○	2~4台
RAID 5(ストライピング+パリティ)	◎	◎	×	×	○	○	○	2~4台
Non-Raid(単体認識設定)	▽	▽	○	○	○	○	○	単体認識

品名	intelligear mini	型番 / JAN	MIR-ME3 / 4538124006654 (eSATA)
型番 / JAN	MIR-MF8U2 / 4538124006647 (1394b / USB2.0)		MIR-MU3 / 4538124006661 (USB 3.0)
カラー/本体材質	シルバー/高放熱性アルミ・クリスタル採用	対応システム(PC)	eSATA : Windows XP/Vista /7
対応HDD	5 x 2.5" SATA I/II/III HDDに対応		FireWire 800/USB2.0 : Windows 2000/XP/Vista/7
LED	システム及びHDD情報表示		USB3.0 : Windows XP/Vista/7
Raidレベル	RAID 0、1、10、3、5、LARGE、CLONE	対応システム(Mac)	eSATA: Mac OS 9.1以降、10.2以降
	Non-Raid(HDD単体認識)		FireWire 800(1394b)/USB2.0 : Mac OS 10.2以降
インタフェース	eSATA - 1ポート(MIR-ME3)		USB3.0 : Mac OS 10.5以降(別途USB3.0環境必要)
	FireWire800 / USB2.0 - 各1ポート(MIR-MF8U2)	専用ユーティリティ対応O/S	MacOS 10.4以降、Windows XP以降
	USB3.0 - 1ポート(MIR-MU3)	本体寸法/重量	221(H) x 156(W) x 260(D)mm/7kg(HDD含めず)
準拠・転送速度	RoHS準拠、eSATAはSATAII規格準拠 - 最大3.0Gbps	電源	入力 : 115~265/47~60Hz
	IEEE1394b準拠 - 最大800Mbps、	製品内容	本体 x 1台 (HDD含まず)
	USB2.0準拠 - 最大680Mbps、USB3.0準拠 - 最大5Gbps		ケーブル: eSATA x 1本(MIR-ME3)、USB 3.0 x 1本(MIR-MU3)
ホットスワップ	5 x リムーバブルトレイ方式		FireWire800 x 1本、USB 2.0 x 1本(MIR-MF8U2)
FAN	山洋電気製80mmスマートファン (9A0812F401)		電源コード x 1本、CD-ROM(マニュアル、SmartRaid マネージャソフト)

intelligear miniモデル概要

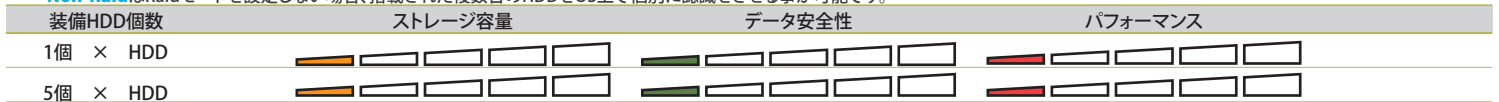
商品名	Intelligear mini (1394B+USB2.0)	Intelligear mini (eSATA)	Intelligear mini (USB3.0)
型番	MIR-MF8U2	MIR-ME3	MIR-MU3
JAN	4538124006647	4538124006654	4538124006661
インターフェース	FireWire 800 / USB2.0	eSATA	USB3.0
Non-Raid(個別認識)	1/2台	1/2/3/4/5台	1/2/3/4/5台
LARGE容量	1/2/3/4/5台	1/2/3/4/5台	1/2/3/4/5台
RAID0容量	2/3/4/5台	2/3/4/5台	2/3/4/5台
RAID10容量	4台	4台	4台
RAID3容量	3/4/5台	3/4/5台	3/4/5台
RAID5容量	3/4/5台	3/4/5台	3/4/5台
Clone容量	1台	1台	1台
RAIDグループ個数	2組まで	5組まで	5組まで

intelligear mini性能概要

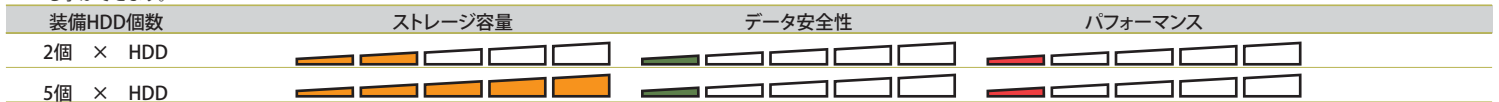
RAID (Redundant Arrays of Inexpensive Disks)は、複数台のハードディスクを組み合わせることで仮想的な1台のハードディスクとして運用する技術です。安価で低容量、価格相応の信頼性のハードディスクを用い、大容量で信頼性の高いストレージをいかに構築すべきかを提案したものです。**intelligear mini**は5台の市販2.5インチSATA HDDを利用し、Non-Raid(個別認識)、Large、Clone、RAID 0、RAID 10、RAID 3及びRAID 5を構築することができます。

Non-Raid、Large、Clone、RAID 0、RAID 1、RAID 10、RAID 3、RAID 5性能比較

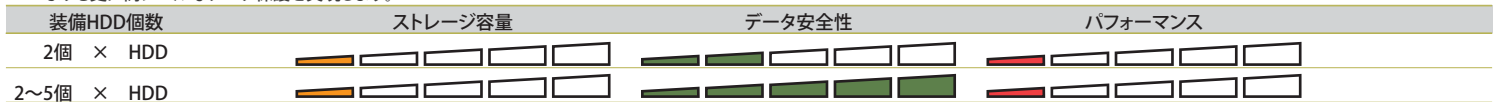
Non-RaidはRaidモードを設定しない場合、搭載された複数台のHDDをOS上で個別に認識させる事が可能です。



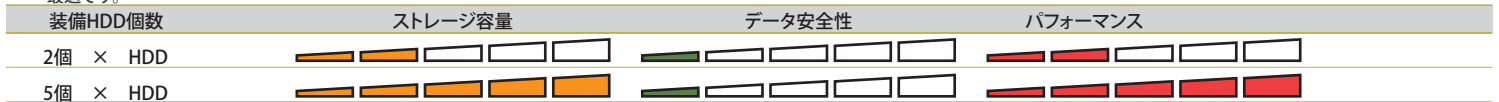
LARGEモードは搭載された複数のHDDを単一の大容量ボリュームとして認識されるモードで、合計の容量は搭載されたHDDの総容量となります。例えば250GB、500GB、750GBのHDDを搭載した場合、合計のサイズは1500GBとなります。RAID0とは異なり搭載されたHDDに順次書き込みを行うため、パフォーマンスは向上しませんが余っている容量の異なるHDDを最大限に活用する事ができます。



CLONEモードはRAID1と同じく、搭載されたHDDに同じ内容のデータを同時に書き込む技術ですが、こちらは最大で5台のHDDに同時に同内容のデータを書き込む事が可能ですのでRAID1よりも更に高レベルなデータ保護を実現します。



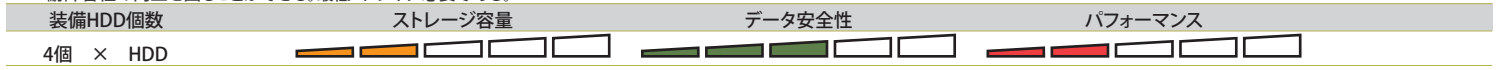
RAID 0は「ストライピング」とも呼ばれ、搭載された2台のHDDをあたかも1台のディスクであるかのように認識させることで大容量の単一ストレージを実現するRAIDモードです。指定したデータを2つのHDDに分散させて同時に書き込みを行いますので、通常の場合に比べてパフォーマンスの高い高速なデータ転送が可能です。ビデオデータの編集等、容量の大きいデータを高速処理に最適です。



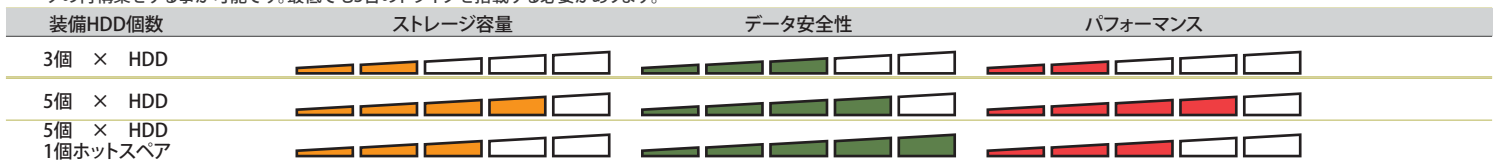
RAID 1は別名「ミラーリング」とも呼ばれ、搭載された2台のHDDに同じ内容のデータを同時に書き込むRAIDモードです。もしも一台のハードディスクが故障したとしても、もう一方の正常な方のHDDがデータを保持しているため、HDDの故障によるデータの損失を最小限に抑えることができます。大切なデータを扱う場合等に最適なモードです。故障ハードディスクを新しいハードディスクと交換すると、自動的にリビルディングが開始されます。



RAID 10はRAID 0とRAID 1を組み合わせた構成を特別にRAID 1+0(RAID 10)と呼ばれ、高速化、大容量化を目指したRAID 0と高信頼性を求めたRAID 1を組み合わせることにより、速度、容量、耐障害性の向上を図ることができる。最低4ドライブ必要である。



RAID 3はRAID3は別名ストライピング+パリティ(固定)と呼ばれます。RAID0にパリティと呼ばれる誤り訂正符号を追加し、データと共に記録をするRAIDモードで1台のHDDが故障した場合データの再構築をする事が可能です。最低でも3台のドライブを搭載する必要があります。



RAID 5はRAID5は別名ストライピング+パリティ(分散)と呼ばれ、RAID0にパリティと呼ばれる誤り訂正符号を追加し、データと共に分散して記録をするRAIDモードで1台HDDが故障した場合データの再構築をする事が可能です。最低でも3台のドライブを搭載する必要があります。

